

千里第二小学校ものがたり (二)

編集部 (萩原)

今回の「千里第二小学校ものがたり」は、今年が千里第二小学校の創立八十周年に当たりますので、学校側で企画されている記念事業について報告させていただきます。皆様がこの会誌を手にする頃には、その一部は実施済みかもしれませんが、その全ては来年の会誌で報告させていただきます。

続いて、今年が千二小創立八十周年に当たることを知るきっかけとなった東谷先生(勝司先生・睦子先生)から貸していただいた千二小創立三十年周年記念誌(昭和三十四年発行)に掲載されていた黒川先生親子の寄稿文を紹介させていただきます。黒川高秀様のお父様は昭和三十年度のPTA会長で、白蟻に蝕まれた千二小の講堂の建替えに奔走・実現されました。昭和三十一年卒業の我々二十七回生の卒業式は、講堂が危険な状態にあったため青空の下での式であったことを

覚えています。創立三十周年記念誌からの転載については、黒川高秀様のご了解を得ております。

「先生の思い出シリーズ」として、先の東谷睦子先生にご登壇願おうと思ひ、教え子である二十七回生・花組卒業の仲間へ書き風思い出の断片をお願いしましたところ、何人かの方から貴重な情報をいただきました。さらに千里山会員ではあるが、順天堂大学の整形外科主任教授且つ、母校東大アメフトのチームドクターとして多忙な日々を送られているため、今迄ほとんど千里山会総会・懇親会に出席されなかつた黒澤尚様が、「私が東谷先生について書く」と名乗り出て下さいましたので、二段構えで掲載しました。黒澤尚様は黒川高秀様の弟子であり、お二人とも日本を代表する整形外科医です。黒川高秀様は元東大病院院長であり、黒澤尚様は皇后陛下を診察されたこともあります。

このお二人の千二小での高学年時の担任が東谷勝司先生と東谷睦子先生であり、千里山の凄さとか何か不思議な縁を感じます。

最後はこの会誌でも何度か寄稿していただき、昨年

の第十一号では千二小と一中の先生であった「小川東吾先生のこと」を書いて下さった林裕三様が、今度は大西先生について書いてくださいました。大西先生は一中の先生で千二小の教壇に立たれたことはないように、林裕三様もそのことを非常に気にされておりまして、千二小と一中は学域もほぼ同じで、ある意味で最近話題の「小中一貫学校」のようなもの。仲間もほぼ共通、ということでは是非書いてくださいとお願ひしました。

もう一人、千里山会員ではないものの大阪在住で千二小卒業の方が「西田慶二先生」について書いて下さることになっていたのですが、体調を崩され今回の登壇は先送りとなりました。西田慶二先生のお父様は第三代目千二小校長 西田慶太郎先生で、慶二先生も第十代校長として昭和五十年四月から同五十三年三月まで校長を務められました。教え子も多いはずですので是非来年当たりどなたか名乗りを上げていただきたいと思います。

千里山第二小学校創立八十周年

記念事業

この記念事業について現千里山第二小学校の矢橋校長先生に手紙でお伺いしたところ、ご丁寧な返事を頂きました。その時点では「創立80周年準備委員会」として、予算も鑑みながら計画を立てられ、4月以降は新たに実行委員会が立ち上がり、その中で正式決定となることでした。

- ① 航空写真を撮影し、下敷き等を子ども達に配付
- ② 風船を飛ばし、それに子ども達も手紙をつけ交流を図る。
- ③ 正門横に時計を設置し、登下校する子ども達や通勤途中の方々に役立てる。
- ④ 記念DVDを製作し、記念誌に替わるものとする。
- ⑤ 式典を開催 内容や規模、日程は未定ながら何らかの形で行う。現時点では**十一月十四日(土)**が有力候補だそうです。

以上